

平成 29 年 3 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

3月の業種別景況の前月比DI値は、14業種の内、5業種が好転、同等が8業種、悪化が1業種となり、全体の景況感も好転している。

繊維工業、一般機器、その他（介護事業）では安定した受注・売上が続いている。窯業・土石製品、卸売業、小売業、サービス業、運輸業では低迷の報告の中に、上向きの報告も見られる。

一般機器・小売業・サービス業・運輸業・その他（介護事業）からは、深刻な人員・人材不足の報告も続いている。

3月は気候が良くなり消費が上向いており、山口県の中小企業の景況感を、若干押し上げている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 3 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化：26.3% DI値：▲22.5% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 17.5% 減少：28.8% DI値：▲11.3% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 12.5% 悪化：20.0% DI値：▲7.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 3 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	25.0	▲33.3	▲50.0	▲66.7	0.0	50.0	▲18.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲20.0	▲44.4	▲50.0	▲9.1	▲30.0	0.0	▲100.0	▲25.6
							

全体
▲22.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	宇部地区では、大型店の勢いが落ちてきたので売上が前年より若干上昇している。組合員が飲食を兼ねた新店舗を開店したが、秋芳地区において飲食店の応募が皆無で、現在は物販のみで営業をしている。	パン・菓子製造業
	3月是对前年同月比で1.3%のプラスと1年ぶりに前年をクリアした。3月上旬から早咲きの河津桜が咲きそろったことや、週末が全般に好天だったこともプラスに作用した。3/12開催の萩の真ふぐ祭りも対前年比で10%アップの集客となり賑わった。3月には鮮魚系4店舗の冷蔵ショーケース新品入れ替えおよびPOSレジシステム全体の更新で約1,300万円の設備投資を行った。	水産食料品製造業 萩市
	年度替わりのため、商品の動きは例年並みと考える。今後の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	季節外れの大雪が降り、農作物への影響が懸念されている。地球温暖化に伴う異常気象のせいか、過去の知見が全く活かさない状況で、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できる農産物の売上に関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。北朝鮮がミサイル発射などの挑発的行為を繰り返し、トランプ政権が過剰に反応するなど、極東アジアでは、地政学的リスクが高まり、日本への影響が懸念される。	精穀・製粉業
繊維工業	前月と変わらず、4月末までの受注量があり順調である。	下着類製造業
	売れ行きがよくない模様で、受注量が少ない。	外衣・シャツ製造業 下関市
	2月生産分に対してかなりの追加発注があり、5月の連休前までの仕事量は確保できている。その後の発注についても確保できたがつなぎがうまくいかず、4月末は少し手が空きそうである。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	売上が少しずつ上向いている。	製材業・木製品製造業 山口市
	公共事業関係の売上等あったが、全体的には大きな変化はない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	製品メーカー各社が4月より印刷・情報用紙の値上げを表明しており、今後の動向を注視していかねばならない。	印刷 下関市
	3月は昨年と比べ営業人員が増えた分、受注量は増加したが、内部でこなすことのない外注量が増え、	印刷 山口市

	工場内の仕事量が減ったため休日出勤、残業は少なかった。	
窯業・土石製品	3月の出荷量は、 (平成28年3月) 骨材70%、路盤材107%、再生材 77% ↓ (平成29年3月) 骨材86%、路盤材 59%、再生材116%	砕石製造業
	出荷量は、前月比107%、前年同月比78%、4～2月までの出荷量は、前年比88%。今年度の出荷量予想は対前年度比88%で、来年度の出荷量予想は今年度を更に下回ると予想している。現在、生コン価格は安定しているが、出荷量が極端に少ない一部の遠隔地で値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	単価はさておき、近年にはないほど受注が増えている。新規や特に移転が多く、寺院が墓地造成したことも一因である。足元の悪いところからの移転が多いため、工事中の安全確保が課題となっている。	石工品製造業
	3月に入り暖かくなってくるにつれて萩市内の観光名所には多くの観光客が見られるようになり、昨年と同等レベルまで持ち直した印象。旧萩藩校明倫館跡「萩・明倫学舎」が3月4日にオープンし、同館お土産ショップにおける売上は、お菓子や酒といった食品が人気で、萩焼は苦戦している。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの売上は、前年同月比で同等の売上となっている。関東・関西方面の百貨店や問屋・陶器店からの受注に関しては、1、2月の悪かった月よりもある程度動きが出てきており、前年同月比も若干上向きに推移しているように思われる。3月19日に行われた萩市長選挙は、接戦の末、新市長が誕生し、萩焼や観光に対する考え方も変わってくると思われ、今後の政策に期待したい。	陶磁器・ 同関連製品製造業
一般機器	3月の景況は、前月同様で横ばいである。海外プラント関係は6月以降も好調な見通しである。雇用面では相変わらず人手不足が続いている。前月同様、アメリカ大統領の政策が不透明であるための不安感がある。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係の下請企業の受注状況は引き続き安定している。惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多いため、36協定遵守の指導を続けている。食肉加工業、溶接関係、惣菜、自動車整備等は、引き続き人材の確保が困難で、外国人技能実習生の増員や新規の相談があった。食品加工については仕事量の増減が大きく実習生受入に若干難があ	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>る。新制度による受入期間の延長、増員についての協議を進めている。なお、介護の受入についても複数の介護施設からの要望もあり、送り出し機関と条件の協議を進めており、大きな需要になる可能性がある。</p>	
	<p>金型の設備操業度は、2月度と同等程度である。金型の受注は月初やや低迷し月末に数件を受注し、今後の受注見込を考慮すると6月末までの仕事量は確保できる見通しである。しかし、相変わらず顧客の要望は、短納期、低価格、品質等に厳しい状況である。成形製品関係の設備稼働率、受注状況ともに昨年同時期より増加傾向にあり、4月も同等の稼働率で推移しそうな状況である。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>車両部門は長期的にも生産量の増加が見込まれる生産計画が出され、好調を維持している。精密加工部門は一時の好調さが薄れ、踊場状況に陥ってきている。</p>	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	<p>海苔は相変わらず価格が高くて買えない状態。全体の売上は前年同月比13.6%の減少、海苔在庫数は前年同月比69.6%の減少である。</p>	乾物卸売業
	<p>真フグのシーズンにも関わらず漁獲量が非常に少なく、時化が多い時期のため鮮魚の入荷も少なかった。来月から風が多くなる時期になるため入荷に期待している。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>年度末までに納品する商品が増加し、売上増が期待できる。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>各店とも売上は微減の様相。従業員は入社後2年ぐらいの教育期間を要するが、数店舗で2～3月中に従業員が辞め従業員不足が起きており、最近では募集をかけても応募もないという悪循環となっている。</p>	化粧品小売業
	<p>地区の小売業は量販店に客が流れ苦戦している。セブンイレブンも核家族化に対応し集客力を高めている。物を仕入れて販売する商売は難しく今後の廃業の増加が懸念される。4月から始まるウェスタンリーグでの広島東洋カープの集客力に期待しており、由宇町の活性化に結びつけたい。建設業は人手不足に陥り若者の育成が望まれている。すべての業種で高齢化が進み労務管理が困難になってきているため、労働力確保の施策が望まれる。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>商店街への客数が減少しており、雇用も減少している。昨年と比べて全体的に厳しい状況。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>衣料品の核店舗の売上が増加し店舗全体の売上を押し上げている。他の衣料品店舗の売上にはバラツキがある。</p>	各種商品小売業 長門市

商店街	<p>気温が上昇し来街者数が増え、各店舗の売上も緩やかな持ち直しの傾向である。29年は3、5、10、11月のイベント実施と空店舗対策により活路を見出すつもりである。井筒屋百貨店の催事に期待している。</p>	山口市
	<p>3月もあまり変化のない状況である。洋品店は入学卒業の関係で多忙の様子。3月に商店街アーケード沿いにビジネスホテルができ、宿泊客の増加により商店街が賑わうことに期待している。</p>	萩市
サービス業	<p>卒業シーズンで例年並みの売上となったが、人手不足が影響し人手不足分の売上が下がっている。</p>	美容業
	<p>卒業式、人事異動等があり、来客が増え売上も上向いている。しかし、時期的に組合脱退者が多くなる。</p>	理容業
	<p>年度末を迎える中、山口県における2月の新車新規登録自動車の販売が好調で、対前年同月比で22.2%増となっている。反面、軽自動車は11.7%減と28年度において対前年同月比を上回った月はない状況で、軽自動車の販売が低迷している状況が窺える。売れない原因は不明である。</p>	自動車整備業
	<p>人手不足が続いている。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>宿泊人員及び売上は対前年同月比で102%となり、ほぼ前年並みであった。</p>	旅館業 山口市
	<p>市長選挙があり、行政の人事異動の関係で送別会等の宴会が4月にずれ込んだ。宿泊者数はやや増加しており、週末はほぼ満室である。</p>	旅館業 下関市
	<p>施設利用者（入浴者数）はスポーツ交流施設の利用が増えたこともあり、売上は前年同月より増加している。売店部門については飲食店の増加により当社売上は減となった。</p>	旅館業 長門市
	<p>新規組合員が増加傾向にあるが、飲食業界の好調の兆しか地道な組合員獲得強化事業を継続実施している努力が報われたか定かでない。学生アルバイトの端境期で、アルバイトが見つかりにくいという声を聞くが大都市のようではないようだ。飲食業界の裏方は外国人がすっかり定着しているが、その分日本人の働き手がいなくてもいいかもしれない。山口ディステーションキャンペーンが展開されており、当組合も今回「薄造りの技」でキャンペーンに参画することになった。なかなか共同歩調の取れない飲食業界ではあるが、何とか地域プラン食を提供すべく一致団結して頑張っているのも、ムード的には上昇機運にあるのかもしれない。世代交代がままならぬ状態が続いていたが、着実に世代交代が進んでいる。飲食業界全体は「受動喫煙強化法案阻止」で団結し</p>	飲食業

	<p>ているが、たばこを吸わない人が増えればストレス社会になりかねない。山口県の花博はオリンピック以上に気になるが、まだまだ先のことで目先の景気が気になる。</p>	
	<p>春分の日を境に徐々にではあるが冬物衣類が出始めたが、3月序盤の売上減少分を取り返せておらず、年々厳しい状況となっている印象である。昨年12月に洗濯表示が新JIS規格に変更となった。ウェットクリーニング（クリーニング店が特殊な技術で行うプロの水洗いと仕上げまで含む洗濯）表示をしっかりと周知し、新たな顧客開拓を目指していく。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>2月の中電への工事申請は104件、太陽光発電への申請9件、オール電化申請61件。前月の売電価格引下げ前の駆込み受注の反動が出ている。</p>	電気工事業
	<p>建設業の専門工事業者の多くの職種で工事量の減少の声を聞く。上昇し始めた年収の増加が抑制されると共に、採用や社会保険加入へのブレーキとなるおそれがある。</p>	左官業
	<p>3月の業界の景況は前年並みである。平成29年度の発注時期はゴールデンウイーク明けで、発注量は平成28年度並みと発表され一安心だが、年々工事量が減ってきている一般土木建設業等からの入札参加が増え競争が激しくなっているため、現在、見積等の研修を組合独自で行っている。</p>	管工事業
	<p>年度末で、例年仕事の少ない時期であるので、新年度に向けて仕事の確保に注力している。</p>	屋根工事業
	<p>職人不足の影響で、新築引き渡し寸前での内装工事の依頼が入ったことから、慌ただしい段取りであった。工程に余裕があっても、職人不足で結果的には忙しくなっている状態で、そのような仕事は利益率が高い。</p>	内装工事業
	<p>年度末ぐらいの仕事量で少し忙しいくらいでない、十分な売上を得ることができないという声がある。地方においては工事量が少ないのが一番のネックとなっている。柳井土木管内は、県の予算の大部分は大島郡に使われている。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>受注高は、対前年同月比2,363%。今年度の累計では対前年同月比112%である。前年度の3月は災害復旧工事も終了し工事が少なかったが、今年度は萩小郡道路の絵堂萩間の大型工事が数件あったため、対前年度比が大きくなった。</p>	土木工事業 萩市

運輸業	<p>3月中旬頃より物流動向が活発化している。長・中距離ドライバー不足は依然として続いており輸送車両を確保するのに年度末まで困惑した状態が続いている。取扱量は前年同月比0.5トンの増加だが、相対的にはあまり変わらない。労働時間について、中小運送業は見直しの必要があるとの声が多い。燃料費は0.6円の値上げ。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>受注量は全体的には前年並みとなったが、先月同様自動車部品関連が大きく落ち込んだ。燃料価格は昨年末より徐々に上がっているが、依然として低位である。乗務員不足は未だ解消されていない。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>輸送・倉庫保管案件ともに、年度末で荷物量が増加している。顧客からも新規案件等の引き合いが多くあり、景気の好転が若干ながらも感じられる。即戦力になる中途採用人員については相変わらず確保に苦労している。新年度ということで各社での異動、新卒社員の入社、顧客の新規事業、担当者変更など慌ただしい時期を迎えている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比▲0.75%（平成29年2月1日～平成29年3月20日分）。2月1日～28日分は+3.7%、3月1日～20日分は▲7.1%。2月は昨年より日数が一日少なかったが好調で、1月の減少分を取り戻すことができた。3月は中旬から前年割れの状態。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、2月分については、周南+3.8%、下松+1.7%、光+16.1%、防府▲3.5%、組合員全域で+3.0%、地区外（員外）で+15.3%、合計+3.7%であった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、ブタン、プロパンのCPの高騰が続いており（前月547.5\$/トンが今月600.0\$/トン）、為替は少し円高になったが、前月より+4%となった。前年3月分には比べると+33%となり今後の推移が大いに心配される。タクシー乗務員は慢性的に不足しており、高齢で退職する人員減少を採用で補いきれないため稼働できない車両がある状況。2月は後半の取扱が増加したが、3月中旬の落ち込みを少しでも取り戻したい。</p>	一般旅客自動車運送業 周南市
	<p>季節的要因もあり取扱高は若干増えた。</p>	港湾運送業
その他 非製造業	<p>雇用情勢は厳しいが、売上は安定している。</p>	介護事業